



2021年5月16日 (第201号)
発行所 カトリック高松司教区 広報委員会
〒760-0074 高松市桜町1-8-9
TEL 087-831-6659 FAX 087-833-1484
Email
教区:catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.jp
広報:tk-koho@mxi.netwave.or.jp
生涯養成:yousei@takamatsu.catholic.jp
WEB http://www.takamatsu.catholic.ne.jp/

カトリック高松教区報

マザー・テレサの言葉

渴いている人に一ぱいの水を飲ませてあげるならば、それはイエス様に飲ませて差し上げることです。これは小さな、単純な教えです。でも、よく考えてみるならば、それは、いちばん大切なことなのです。

聖ヨセフの特別年

執り成しの人、苦難の時に支え、導いてくれる人

教皇は、2020年12月8日から2021年12月8日までの一年間を、「聖ヨセフの特別年」として祝うことを布告されました。教皇は、使徒的書簡「父の心で」の中で以下のように、「イエスの養父、聖ヨセフの優しさ、従順、受容の心、創造性をもった勇氣、労働者としての姿、目立たない生き方」を示しておられます。

使徒ヨハネ 諏訪榮治郎

1. 愛される父

ヨセフは、聖家族の長として、全力を傾けて家族に尽くしました。救い主イエスが成長できるように、自己とすべての力をささげ尽くす愛です。ヨセフは、つねにキリスト者から父として崇敬されてきました。ヨセフを守護者とする無数の教会、ヨセフの名を冠した多くの奉獻生活の会、教会グループ、伝統的な信心をみれば、ヨセフがいかに愛され慕われたかが理解できます。ヨセフはダビデの子孫として、またマリアの配偶者として、旧約聖書と新約聖書の十字路に立っています。

2. 優しさと愛に満ちた父

ヨセフは、イエスを見守っていました。イエスは、ヨセフの中に神のあわれみを見ました。私たちは、ヨセフが幼子イエスに示したような、優しいあわれみのところで、他者の、自分の弱さを受け入れることを学ぶ必要があります。神のあわれみは、人の弱さを非難することなく、優しい愛の光のもとに置きます。神が私たちの弱さを気づかせる目的は、歓迎し、受け入れ、支え、ゆるすことを知らせるためです。

3. 従う父

神は、救いの計画を夢でヨセフに打ち明けました。ヨセフは、マリアの懐妊のことで、深く悩んでいました。夢に現れた天使の言葉に従順でした。またヨセフはゲッセマネの園のイエスのように、自分自身の「なりますように」を宣言しました。イエスは、ヨセフの学び舎において、父の意志を行うことを学びました。イエスは「多くの苦しみによって従順を学んだ」(ヘブライ5・8)のです。

4. 受け入れる父

ヨセフは、夢に現れた天使の言葉を信じて、マリアを無条件に「受け入れ」ました。人生には、その意味が理解できないことが起ります。ヨセフは、自身の思惑を脇に置きました。私たちは、つねに自分の期待とそれに続く失望にとらわれずに一步を踏み出せば、自分の歴史を受け入れることができます。ヨセフの霊的な道は、受け入れる道です。受け入れと和解の結果としてのみ、私たちは、人生の深い意味を知ることができます。

5. 創造的な父

創造的な勇氣、これは困難に直面したとき発揮されます。神は、ヨセフの「創造的な勇氣」を信頼したのです。ベツレヘムで、マリアのためヨセフは馬屋をみつめました。ヘロデによる危機に直面したヨセフは、夜中に起きてエジプトへ逃れました。家族を守るためにリスクを「引き受けた」ヨセフがあつて、イエスは成長したので、神の摂理につねに信頼し、困難を好機に変えたヨセフと同じ創造的な勇氣を示すなら、神は、いつも私たちを救う道を示してくださるのです。

6. 働く父

ヨセフは、家族を養うために誠実に働いた大工でした。赤子イエスを守り、エジプトへの避難など父親としての「決断」が救いの根幹にあります。イエスは自分の労働の成果であるパンを食べる価値、尊敬、そして喜びをヨセフから学びました。ヨセフは労働者の保護者です。労働は、救いの計画に参加する道であり、人間の才能と能力を高め、社会との兄弟的交わりに貢献する好機です。また労働は、社会の基本単位である家族を充実させます。仕事のない家族は、困難、緊張、疎外、離別に対して脆弱で

7. 影にいる父

ヨセフは、天上の父を映す地上の写しでした。ヨセフは決してイエスを自分の意のままにせず、天の父の影として行動したのです。妻や子供を自分の所有とみなす社会にあつて、ヨセフは、わが子が自分のものではなく、ただその世話を任された事実をわきまえていた。ここにヨセフの「謙虚さ」を見、ヨセフの愛は犠牲ではなく、与えること、また信頼です。人生の意味は、自己を与えることから生まれます。ヨセフは、自分自身を物事の中心に置くどころか、マリアとイエスの生に焦点を絞ったのです。父とは、自立し、助けなしで人生の道を歩むわが子の姿を見て自分の役目を果たす者です。

す。誰も家族や仕事なしでいるべきではありません。労働者聖ヨセフの助けを切に願いましょ。

「主の祈り」を黙想する
今年度の司教書簡は、私たちが日頃唱えている主の祈りについて、ゆっくりと立ち止まって、祈りの一つ一つの意味を考え、黙想するために書かれました。この書簡を読み、個人で黙想していただくほか、感染予防に注意して少人数で分かち合ったり、オンラインで分かち合ったりしていただくこともお勧めします。教区では、黙想されたことや分かち合いの内容を教区報に掲載し、より多くの方と分かち合っていたことにしています。さっそく次号以降の教区報で紹介したいので、是非お寄せ下さい。800字程度で書いていただくとちょうど良い長さです。また、書簡を読まれた後には、できればお知り合いに差し上げて下さい。いろいろな形で宣教していただければ幸いです。

はばたき
まだ洗礼も頂いておらず、御ミサにだけ毎週与っていたころの話である。クリスチャンに相応しい心得や振る舞いを自分も持ちたいと考える日々。そうだとすはミサの順番を覚えてしまおうと、ミサ式次第を収録したCDを購入し聞いた。CDには「歌唱ミサ」と書いてあった。賛美を音に乗せ唱え、対して朗読者のそれもすばらしい。私はこれこそが本式のカトリックミサの形式と想ってしまった。若かった(?)こともあり、なぜ全ての神父様がこのようにしないのかなどと考えてしまった。司教様くらい位の位階の方がこの歌ミサに近い形で進めて下さる場合が多かったように思い、司教様の司式となれば密かに期待もした。

今、全国どこのカトリック教会を訪ねても、この歌ミサに与ることのできるころはないのではないかと。いや、しようと思えばできるのかもしれないが、信徒席には人はいないだろう。代わりにあるのはスマホ類のカメラ、三脚、電源等のケーブルではないだろうか。全員で、歌で神を賛美し、信仰の喜びを感動のうちに分ち合う、その時がいつ来るのか。神の御旨を想像しても詮無きことだが、できれば早期に従前のようなミサが一日でも早く戻ってくることを切に願いたいと思う。

イル神父様 宋神父様 長い間ありがとうございました



皆様、ご復活おめでとう
ございます。お元気でしよ
うか。

新型コロナウイルス感染
が世界中に広がっています。
とりわけ密室化された場所
で不特定多数の人々が集う
ことにより感染がより拡大
していることが、指摘され
ております。教会もこの未
曽有の状況に翻弄されなが
らこの一年をやっと過ごし
てきました。皆様におかれ
ましては、おかわりござい
ませんでしょうか。命にか
かわるコロナウイルスから、
自分も相手も守ってください
い。神からいただいた大切

な命を失ってはいけません。
さて、皆様にお知らせを
いたします。私は過日の理
事会にて、当学園の理事長
に選任されました。4月か
らは、福岡県にて暁の星学
園理事長・暁の星幼稚園園
長として勤務することにな
ります。

聖母幼稚園では2008
年4月1日から副園長とし
て3年間、その後園長とし
て10年間の在職となりまし
た。その間、保護者の皆様、
子どもたち、スタッフに支
えられながら、大変楽しく
勤めさせていただきました。
心から感謝申し上げます。
また、安芸市にある海の星
幼稚園の園長としては閉園
までの残り一年を、園長と
して勤めさせていただきました。
2008年4月から20
21年復活祭まで13年間高
松司教区高知中島町教会で
担当司祭として働きました。

高知地区の五つの教会にも
担当司祭として働きました。
人権を考える委員会の委員
長、カリタスジャパン、A
OS司牧、外国人司牧、教
誨師、篤志面接委員(高知
刑務所)、高知地区長、など
などいろいろな経験をさせ
ていただきました。諏訪司
教様はじめ神父様方、また
四国の皆様のおかげで成長
することができました。お
世話になりました。ありが
とうございました。誰かを
言葉か行いで傷つけていれ
ばお許しください。

どうぞ皆様には、福岡県
にお越しの際は、お声かけ
いただけますようお願いし
ます。皆様からいただいた
素晴らしいご縁を今後も大
切にまいります。
季節の変わり目です。ど
うぞくれぐれもご自愛くだ
さい。これからもどうぞよ
ろしくお願いいたします。
アントニマー・イルダヤラジ
(イル神父)

皆さんとの出会いは 司祭として生きる糧



主の復活おめでとうござ
います。皆さん、喜びあふ
れる復活祭になっています
か？

ご存知の通り、私は今年
の復活祭を最後に、韓国に
帰ることになりました。神
学生の6年と司祭としての
6年間、高松教区のみなき
んにはお世話になりました。
特に神学生の時また司祭と
しての半分、3年間過ごさ
せていただきましたながら関わ
って下さった桜町教会のみな
さんには本当に心から感謝
いたします。ありがとうございました。

振り返ってみるとあつと
いう間に過ぎてしまった12
年でした。何も知らないま
ま、ことばも出来なかった
28歳の青年が皆さんのおか
げでいつの間にか6年目の
司祭になりました。多くの
弱さをもっている人なので、
思わずにご迷惑かけてしまっ
たこともたくさんあると思
います。この紙面をかりて
お詫び申し上げます。どう
か良い思い出だけ残してい
ただければ幸いです。
さて、今から50日間わた
りした復活祭を過ごしま
す。この50日の間復活した
イエス様と出会うことに
よって、自分の命が失われ
るのを恐れ、師匠を捨てて
部屋に閉じこもっていた弟
子たちが、自分の命をかけ
て愛を伝える使徒たちにな
ります。いったい何があつ
たのでしょうか？復活したイ
エス様との出会いは、期待
しているような劇的出会い
というよりは、じわじわと
感じさせるような出会いで

こころのダイヤル あなたを大切に思っています



中島町教会 木村智子
夫の転勤で岡山から高知に
赴任して33年になる。岡山に
いた頃は、岡山カトリック教
会の神父様達と岡山いのちの
電話で活動していた。

社会とともに歩む教会をめざして

高知には岡山と違って、いのちの電話の活動はな
されていなかった
が、シモンズ神父
様が独自に、少人
数で「こころのダイヤル」の活動をされていた。当
時、他に相談活動のない高知県にとって貴重な活動
であった。
シモンズ神父様のこころのダイヤルの仲間に入れ
ていただいた。神父様の「私も大切、あなたも大切」
をモットーにして電話をかけてきた人に寄り添い、
ひたすら耳を傾ける。
一本の線でつながった隣人がせきを切ったように
泣きながら苦しさを訴える。その辛さ、悲しみを聞

かせていただくこと70分、80分、長時間受話器を
持っている手がふるえ、涙が頬を伝わる。
しばらく沈黙の後、「気持ちが悪くなりました。
ほっとしました。聴いて下さりありがとうございます。
した」そっと受話器をおかれる。その晴ればれとし
た明るい声に励まされる。
こころのダイヤルの活動は、13年間継続した後、
高知いのちの電話に移行して21年になる。
今も前身である「こころのダイヤル」の理念はしつ
かりと受けつがれている。

この電話でみがか
れたコミュニケーション
ン力、感性を社会で
の人間関係に役立たせたいと思っている。
全国で一時3万人を超えていた自殺者は年々減少
傾向であったが、現在はコロナ関係で精神的に不安
定な方が増え、特に女性の自殺者が多い。小中高生
の自殺者も近年になく最多となった。
あなたを大切に思っています。辛い気持ちを聞か
せていただきます。ベルが鳴っている。今日もひた
すら耳を傾ける。

<https://www.inochinodenwa.org/>

子どもと女性をまもる委員会

聖職者による性的虐待

相談窓口

電話番号：087-831-6659

相談窓口受付時間
月曜日から金曜日(祝日除く)
午前9時~午後5時

高松教区対応チーム

教区広報から

教区広報委員会では、教区報・インターネットで教
区内小教区の情報を幅広くお伝えしていきたいので、
皆様からの情報提供をお待ちしています。小教区の広
報誌・新聞などに掲載された記事も歓迎です。各地区
の広報委員を通して又は教区広報に直接、ニュースを
お寄せください。